プチパネル（日東ホーム分電盤） 施工説明書

日東ホーム分電盤を、お買い上げいただきありがとうございます。
ご使用に際しましては、次の事項をご参照ください。

工事に際してのご注意

◎取付けについて

本体の取付けは、天井・壁等の面から本体までに15mm以上、下側面から30mm以上の間隔をあけて取付けてください。
カバーの取付け取外しが困難となります。
本体の取付けは、平らな面に取付けてください。凹凸のある場所へ無理に取付けますと本体がひずみ、正常な取付け状態・機能が維持できないことがあります。また、適切なねじ締付力で取付けてください。ねじの締付過ぎによって本体がひずむことがあります。
本体の取付け・配線時、内部に切粉やゴミが入らないよう養生などの処置をしてください。切粉やゴミがかかると故障の原因になります。

◎露出取付け

ボックス底面の配線孔にあわせて壁に必要な穴を開けてください。

◎半埋込取付け

壁に半埋込用の穴をあけてください。
穴開け寸法
（露出・半埋込共用型） Ⓐ
　ヨコ：本体ヨコ寸法－（15～20）mm
　タテ：300～305mm・フカサ：30mm
（半埋込専用型） Ⓑ
　ヨコ：本体ヨコ寸法－（25～30）mm
　タテ：290～295mm・フカサ：30mm
ボックス底面・側面の取付用穴を利用して、ねじなどでボックスを固定してください。ねじ止め部には支持材等にて補強してください。（ねじ止め部は支持材とのすき間が無いように調整してください。開口寸法が小さい場合や大きすぎる場合に無理に取付けると ボックスが変形する恐れがあります。）

◎カバーの取外し方

パネル下部のプッシュボタンを解錠位置にして押しながらカバーを手前に持ち上げてください。

◎ケーブルの引込みについて

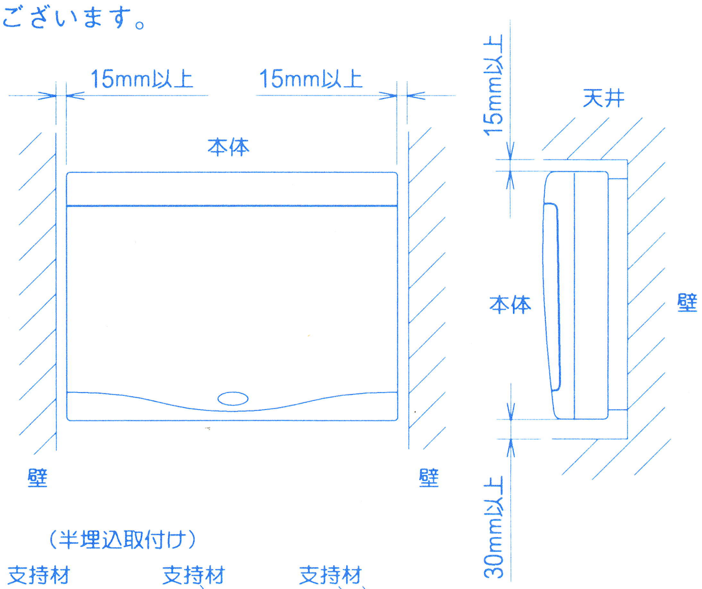
分電盤への引込み主幹ケーブルが太い場合、本体・内部機器に干渉して本体が変形する恐れがありますので注意してください。
右図のように分電盤の外でケーブル被覆をむいて入線するなどして、分電盤内の機器への影響を少なくしてください。

◎送り端子への電線接続

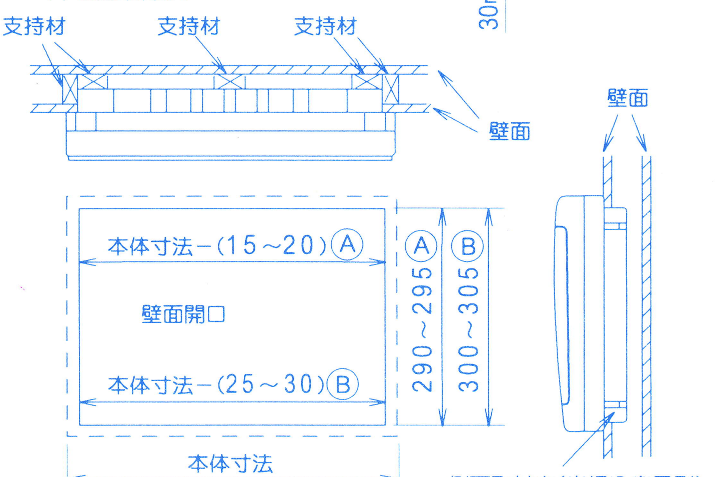
送り端子（M6）への電線接続は圧着端子を使用してください。
端子ねじは標準締付トルクで確実に接続してください。
　標準締付トルク3.0～4.0N・m
　接続可能電線サイズは14mm²までです。

◎付属機器スペース付

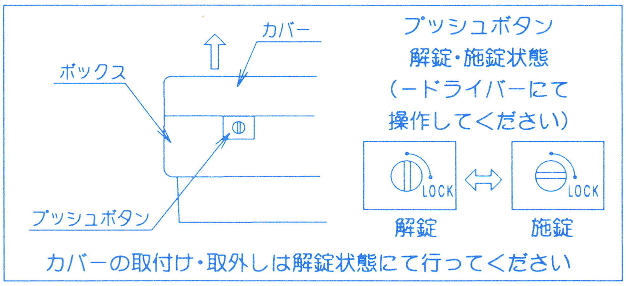
付属機器スペースには下記機器を取付けることができます。
○別系統の引込み開閉器
○主幹ブレーカの定格電流以下で母線に介在する機器
○分岐ブレーカの負荷側および母線に直接接続する機器
（木板ベースを外すと鉄板ベースに協約型ブレーカが取付けられます。）

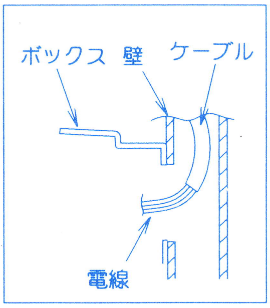


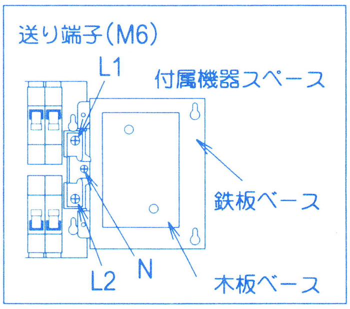
（半埋込取付け）



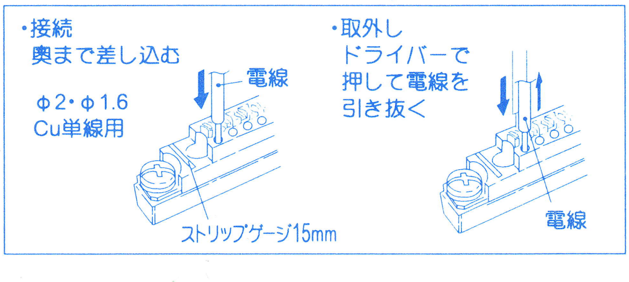
側面取付穴（半埋込専用型）
（共用型は薄膜となっています）







アース端子への電線接続方法



住宅用分電盤　施工説明書

この説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

●有資格者以外の方の電気工事は、法律で禁止されていますので絶対行わないでください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

●相線式（1φ2W,1φ3W）・回路電圧に合わせて選んでください。
　感電事故の防止ができません。

●ねじ締付け・電線選定は説明書にしたがってください。
　火災になる恐れがあります。

⚠ 注意

●主幹ブレーカに電源を接続する場合は、各相を正しく接続してください。

●単3中性線欠相保護付漏電遮断器の過電圧検出リード線は、必ず中性バーに接続してください。
　異常電圧が発生し電気器具を損傷する恐れがあります。

施工上のご注意

■施工に関するご注意

●住宅用分電盤は相線式（1φ2W,1φ3W）・回路電圧に合わせて選んでください。
　回路方式　・単相2線式（1φ2W）　100V
　　　　　　・単相3線式（1φ3W）　100V／200V

●主幹ブレーカに電源を接続する場合は、各相を正しく接続してください。
相を間違うと異常電圧が発生します。

●盤定格電流を越える主幹ブレーカは取付けないでください。

●導電部の接続ねじは、右表の適正締付けトルク範囲内で確実に締付けてください。

●導電部の接続ねじは、輸送中ゆるむ恐れがあるため増締めを行ってください。

●電線サイズは最大想定負荷電流に適合したものを使用してください。
主幹ブレーカ、分岐ブレーカに接続する電線サイズは右表より選んでください。

●分岐ブレーカには単線2本を接続しないでください。

●圧着端子・圧着工具はＪＩＳマーク品を使用してください。
電線に適合した圧着端子を使用してください。

●主幹ブレーカ2次側端子からの臨時配線、及びフリースペースからの仮配線は行わないでください。

●単3中性線欠相保護付漏電遮断器の過電圧検出リード線は、必ず中性バーに接続してください。接続しないと、欠相した場合に、電気器具を保護できません。

導電部の接続ねじ適正締付けトルク

ねじの呼び径	締付けトルクN・m
M4	1.2～1.6
M5	1.6～2.0
M6	3.0～4.0
M8	5.5～7.0

備考：機器端子M5圧着方式の場合は2.0～2.5N・m

主幹ブレーカ・分岐ブレーカ適合電線サイズ

主幹・分岐ブレーカの定格電流	電源サイズ
20A	Φ1.6, Φ2.0
30A	Φ2.6,5.5～8.0mm²
40A	8.0～14.0mm²
50A・60A	14.0～22.0mm²
75A	22.0～38.0mm²
100A	38.0mm²

■設置に関するご注意

●住宅用分電盤は、容易に操作・点検のできる場所に取付けてください。
戸棚・便所・浴室などの内部には取付けないでください。

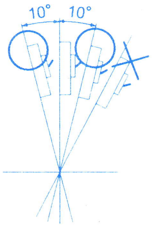
●高温・多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃など異常な環境での使用は避けてください。機能を損ないます。

●屋内で使用してください。
屋外や雨のかかる場所には使用できません。

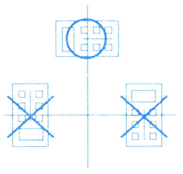
●住宅用分電盤を取付ける壁面は、平らな面を選んでください。
凹凸のある場所へ無理に取付けないでください。

●住宅用分電盤は、右記図中に示す範囲内で使用してください。

●住宅用分電盤の前面には、障害になるようなものを置かないでください。



側面から見た場合


正面から見た場合

■使用上のご注意

●分岐回路を200Vで使用するときは、必ず2P2Eの分岐ブレーカを使用してください。
分岐回路を200Vに切替える場合の手順は、商品に貼付け又は添付している説明書通りに行ってください。
また、200Vに切替えた場合は、必ず200Vの表示をしてください。

●線間の絶縁抵抗測定は漏電遮断器が故障します。

●不要な動作を防ぐため、商品に表示してある主幹ブレーカ定格電流の80%以内でのご使用をお奨めします。

お願い

●工事が終ったら、商品に同梱してある取扱説明書に施工電気工事業者名（指定がある場合は連絡先）をご記入の後、お客様に取扱方法を説明し、お渡しください。

NITO 日東工業株式会社
愛知県愛知郡長久手町蟹原2201番地
〒480-1189　TEL〈0561〉62-3111〈大代〉